

# 根露枝枯御書

弘安元年 五七歳

三論宗も分別ならざる証文をもって立てたりしかば、盲目の衆生に値ひて誑惑せしかども、明眼の智者に値ひて邪義顯はれぬ。此即ち根露<sup>あらわ</sup>るれば枝枯れ、源乾<sup>かわ</sup>けば流れ竭<sup>つ</sup>く自然の道理なり。念仏宗・禅宗と真言とは其の根本<sup>みよご</sup>謬誤を本とし、誑惑を源とせり。其の根源顯はれなば、設<sup>たと</sup>ひ日蓮<sup>卑</sup>はいやしきとも、天のはからひ大法流布の時来たるならば、彼の悪法やぶれて此の真実の法立つ事疑ひなかるべし。

すでに此の悪法消えなんとするは汝知るやいなや。日蓮をいやしみて、さんざんとするほどにするほどに